

ARGENTINA



アルゼンチン





トラベル・インフォメーション／アルゼンチン

国名	アルゼンチン共和国 (Republica de Argentina)
言語	公用語はスペイン語。
時差	日本との差は-12時間。
気候	<p>国土の南北全長が3,694Kmもあり変化に富んでいます。大きく下記4つに分類されます。</p> <p>亜熱帯性のメソポタミア気候とチャコ低地 代表都市：イグアス 北東部はメソポタミア気候と呼ばれる雨の多い亜熱帯の気候区、チャコ低地と呼ばれる比較的温暖なサバンナ気候区がある。メソポタミア気候に属するミシオネス州の東端のイグアスの滝付近は年間平均降水量1,700mmを記録する亜熱帯雨林のジャングル。チャコ低地とはサルト州などが含まれ、年間を通じて温暖な気候となります。</p> <p>アンデス山脈地帯 代表都市：メンドーサ チリとの国境に沿って南北に延びるアンデス山脈。その麓は雨が少なく乾燥した山岳気候が広がる。雨は少ないがこの辺りの気候はワイン生産に適しブドウ畑が広がる。</p> <p>パンパ (大平原) ブエノスアイレスから内陸部に広がる大草原で全国土の約20%を占める。気候は温帯性で耕地に適し年間を通じて平均的に雨が降る。</p> <p>パタゴニア地方 代表都市：カラファテ・ウシュアイアなど コロラド川周辺の南緯40度以南を境にパタゴニア地方という。年間平均気温は約7℃。南へ行く程に降水量が少なくなっていく。強風かつ寒冷気候。</p>
服装	訪れる都市によって服装を合わせて頂く事になりますが、ブエノスアイレスのみならば冬(6~8月)以外は厚手の上着はいりません。パタゴニア地方は1年を通して風が強く夏場でも、ウィンドブレーカーや防寒具は必ずご用意下さい。タンゴ鑑賞の際などにはネクタイ、スーツである必要はありませんが、サンダルやTシャツなどは避けましょう。
電圧	220~240ボルト、50ヘルツ仕様  Cタイプが主流ですが、三つ穴のBFタイプ、Oタイプ、SEタイプがあるので、プラグアダプターは必ず持参するほうがいいでしょう。
電話	●日本から現地に電話をかける場合 国際電話会社の番号が最初に必要です。(マイライン登録をされている場合は不要) + 010 + 54 (アルゼンチン国番号) + 11 (ブエノスアイレス市外局番) + 市内番号 *各都市市外局番 351: コルドバ / 387: サルタ / 221: ラプラタ ◎日本から現地の携帯電話に電話をかける場合 + 010 + 54 (アルゼンチン国番号) + 9 + 携帯番号 ●現地から日本へ直接かける場合 00 + 81 (日本国番号) + 市外局番 (最初の0は不要) + 市内番号 例えば 03-1234-5678 にかける場合 00 + 81 + 3 + 1234-5678 *日本との時差にご注意下さい。

南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティノ 本社 TEL: 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL: 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

通貨

通貨の単位はアルゼンチン・ペソ (\$) 基本的に日本では両替出来ませんのでご出発前にUSドルに両替してお持ち下さい。現地通貨への両替は空港および町の両替商にて可能です。ホテル、レストラン、お土産店などほとんどの場所でUSドルが使用できますが現地通貨に換金されるのをお勧めします。クレジットカードにつきましては殆どの都市でご利用可能です (AMEX, VISA 等)。治安面を考慮し現金および貴重品は全てを持ち歩かず、ホテルのセーフティーボックス等を利用し必要な分だけお持ち頂く事をお勧めします。

換算レート 1.00 USドル = 35.95 \$ (2018年11月現在)

チップ

欧米同様一般的にホテルでのポーターやレストランでの食事の際などチップを支払う習慣があります。おおよその目安は

ホテルポーター (荷物1個につき) 1.00 USドル
ホテルメイド 2.00 USドル

飲料水

水道水は飲めません。

ホテルの冷蔵庫に入っている氷も同様に注意が必要です。ミネラルウォーターを持ち歩くことをお勧めします。(ホテル及び市内売店等々にて購入が可能)尚、ミネラルウォーターには炭酸ガスが含まれているものとそうでないものがございますので購入の際、ご注意ください。見分け方としてペットボトルを軽く押さえて弾力がないほうがガス無しとなります。表記は **SIN GA** と明記されております。

治安

ご心配な点もあるかと思いますが、基本的には欧米の都市と同程度の治安状況です。他地域と比べて観光客が巻き込まれる強盗などが特別多いと言う訳ではございません。但し、空港やホテルなどの観光客が多く集まる場所での置き引きは多いので、いつ、いかなる時でも自分の荷物から目を離すことの無いよう十分ご注意ください。ご旅行中は過度の装飾品や高価な時計などは目を付けられやすいのでお勧め致しません。

外務省 海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

●在アルゼンチン日本大使館 (Embajada del Japon)

住所: Bouchard 547, Piso 17, C1106ABG - Buenos Aires, Rep. Argentina

電話: 011-4318-8200

FAX: 011-4318-8210

<http://www.ar.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

09:00~17:45

土、日、祝: 休館

査証

観光目的(90日以内の滞在)の場合、査証は必要ありません。パスポートの残存期限は帰国時まで有効であること。

予防接種

入国時に要求される予防接種はありませんが、地方への旅行や長期滞在の場合には、一般にA型肝炎、破傷風、狂犬病などの予防接種が勧められます。予防接種は、これまでの予防接種歴、滞在期間、旅行形態、出発までの期間で変わりますので、詳しいことはお近くの検疫所に問い合わせてください。

厚生労働省 海外検疫情報 <http://www.forth.go.jp/>

出入国

アルゼンチンへ空路で入国する場合、以前まで必要だった入出国カードは廃止され、必要なくなりました。空港に到着するとまず入国審査があるので、Extranjeros (外国人)の窓口並びましょう。入国の目的、滞在するホテル名などを質問されます。観光の場合は、帰国便のEチケットの控えを見せるとスムーズです。その後、窓口に設置されたカメラで顔の撮影、右親指の指紋の読み取りがあります。パスポートに入国スタンプが押されたら、機内に預けた荷物の引き渡しコーナーへ。荷物を手に入れたら税関審査を通過します。

出国の際はチェックインして荷物を預けたら、出国審査に進んで出国スタンプを押してもらいます。※陸路での出国の場合は、出国カードが必要な場合もあります。

名物料理

アサード	一種のバーベキュー。肉の炭火焼
エンパナーダ	餃子のような形状のパン生地の中には肉などの具材の入ったパイのようなもの
チョリソー	ソーセージ。スパイスの効いたものや血入りソーセージなど種類は多い。
プチュロ	牛肉と野菜のスープ
パリジャーダ	牛肉や羊、鶏肉、腸詰など炭火焼の盛り合わせ。
マテ茶	忘れてはならない国民的な飲み物。

南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL: 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL: 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

祝祭日

- 1月 1日 元旦
- 2月 謝肉祭 (* 毎年流動する祭日)
- 3月 24日 真実と正義を記念する国家記念日
- 3月 ~ 4月 聖金曜日 (* 毎年流動する祭日)
- 4月 2日 マルビナスの戦争における戦没者の日
- 5月 1日 メーデー
- 25日 5月革命記念日
- 6月 20日 国旗の日
- 7月 9日 独立記念日
- 8月 サン・マルティン将軍の日 (* 毎年流動する祭日)
- 10月 文化の多様性を尊重する日 (* 毎年流動する祭日)
- 11月 国家主権の日 (* 毎年流動する祭日)
- 12月 8日 聖母受胎の日
- 25日 クリスマス

お土産

マテ茶のセット、サッカーのユニフォーム、タンゴのCD、カルピンチョ (カピバラ) の手袋などの革製品等

世界遺産

現在ペルーには世界遺産が10箇所登録がされています。

- | | | |
|---|----------------------|--------------------|
| 1 | ロス・グラシアレス | 1981年 / 自然 |
| 2 | グアラニーのイエズス会伝道施設群 | 1983年 / 文化 |
| 3 | イグアス国立公園 | 1984年 / 自然 |
| 4 | リオ・ピントウスのケバ・デ・ラス・マス | 1999年 / 文化 |
| 5 | バルデス半島 | 1999年 / 自然 |
| 6 | イスチグアラスト/タランパジャ自然公園群 | 2000年 / 自然 |
| 7 | コルドバのイエズス会管区とエスタンシアス | 2000年 / 文化 |
| 8 | ケブラーダ・デ・ウマワール | 2003年 / 文化 |
| 9 | リオ・アビセオ国立公園 | 1990、1992年 / 自然、文化 |

* 上記は登録された年代順に記載しております。

世界遺産には次の3種類があり、有形の不動産が対象となっています。

- 文化遺産 顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など
- 自然遺産 顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、景観、絶滅のおそれのある動植物の生息・生息地などを含む地域
- 複合遺産 文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えている遺産

南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

トラベル・インフォメーション／都市別

ブエノスアイレス

南米のパリとも言われ、スペイン語で”よい空気”という意味をもつ。落ち着いたヨーロッパ風の町で街路が100m毎に基盤の目のように走り、大通り以外の通りは全て一方通行。市の中心は、ラ・プラタ河口に沿った地域で、ホテル、商店街、映画館街、銀行、事務所等が多く、どの通りにもプラタナス、ジャカランダの並木が茂り、市民の憩う緑の広場が点在している。春から夏にかけて、紫や桃色の花が咲き色づく。1980年に市創立400周年を迎えた時には人口が1、100万人を越え、行政上46地区に別れ、面積は約200平方km。伝統的なスペイン様式の建築物が数多く残る5月通りから、市内で最も洗練されたレストランやブティックの並ぶエレガントなレコレータ地区と様々である。その他、イタリア移民により今世紀初頭の雰囲気がある南のボカ地区、サンテルモ地区は植民地時代をそのまま今日に伝える古い地区。

大統領政庁 (La Casa de Gobierno)

五月広場の東側に1873年に起工。84年に完成。サルミエント大統領の時代から使用されるになり壁の色が桃色に塗られてきたことから”桃色の家 Casa de Rosa”として知られている。侵略軍から領土を守るために要塞が以前はあった。向かい側に広がる五月広場も要塞広場 (Plaza de la Victoria) と改められ、5月革命が成立した日に5月25日広場と改称された。



メトロポリタン大聖堂 (Catedral Metropolitana)

18世紀中頃に起工し、1827年にネオ・クラシック様式の外観が完成されるまで、正面の壁は未完成のまま放置されていた。正面上部に施されたモチーフ、12本の柱、5月広場側から中に入り、サロン右手には南米解散の父ホセ・デ・サン・マルティン将軍 (General Jose de San Martin) の遺体が彼の率いた独立軍の征服を身につけた護衛兵に守られ安置されている。

国会議事堂広場 (Plaza Congreso)

1914年完成。ここより5月大通り越しに見える大統領政庁は実に壮麗としている。広場にはロダンの考える人のレプリカや大きな記念碑と国会の上・下院に捧げられる噴水があり、夜間には照明と共に音楽が流れ市民の憩いの場所となっている。5月広場同様政治的集会が多いので気をつけるほうが良い。ブエノスアイレスからの地方の距離はここが起点となっている。

国会議事堂 (Palacio del Congreso)

1906年完成。民主主義と立法権を象徴するグレコ・ローマン様式の威厳のある建物。銅処理を施したドームの高さは地上80m。

フロリダ通り (Calle Florida)

リバダビア大通り (Av. Rivadavia) から北に向かって延びる1km、11ブロックの通り。終日歩行者天国になっており、ガレリア、レストラン、カフェ、パール、デパート等が両側に建ち、ファッションの町ブエノスアイレスを伺い見ることが出来る。

7月9日大通り (Av. Nueve de Julio)

南北を走る、道幅144m、片側5車線の大通り。1回では渡ることが出来ない大通り。長さ100m、幅70mの芝生と遊歩道のある広場「共和国広場 (Plaza de Republica) の真ん中にはピラミッド型で高さ72mの記念塔 (オベリスク) が立っている。ブエノスアイレス市400周年記念の際、1936年建てられた。



コロロン劇場 (Teatro Colon)

パリのオペラ座、ミラノのスカラ座と並び世界三大劇場の一つと称される劇場。舞台には直径20m以上の回り舞台が設置されており、観客席は合計3、500席。

カミニート (Caminito)

ボカの詩人ファン・デ・ディオス・フィリベルト (Juan de Dios Filiberto) によるタンゴ不朽の名作”カミニート”を永遠のものとするため、彼に親友でもあったベニート・キンケーラ・アルティン (Pintor Benito Quinquera Martin) 画伯が国鉄用地を貰い受けて作られた幅7m、長さ100m程の路地公園。



南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

パレルモ公園〔2月3日公園〕 (Parque Tres de Febrero)

公園内には、人工湖、植物園、動物園、プラネタリウム等数々の施設が、あり世界三大公園の一つとしても有名。1874年に市営公園となる。

レコレタ墓地 (Cementerios Recoleta)

1882年に開設され、ブエノスアイレスで最も古く最も由緒ある墓地。歴代の大統領の墓を始め、著名人の墓も多い。彫像と装飾が施された納骨堂はとても墓とは思えないだろう。“エビータ”ことマリア・エバ・ドルアルテ・デ・ペロン。ペロン大統領の元夫人もここに眠っており、一年中花が絶えることがない。



ティグレ

ブエノスアイレス市から北へ29kmのところにある、パラナ川が複雑に入りこむデルタ地帯。ブエノスアイレス市民の憩いの場所かつ別荘地的場所。緑豊かな川岸に別荘が点在する川をゆっくりと風景などを眺めるポートクルーズが有名。

ラ・プラタ

ブエノスアイレス州都ラ・プラタはブエノスアイレス市の南東56kmのところにある。モレノ広場(Plaza Moreno)を中心に左右対称の町並みが広がる。ワシントンDCを模して造られた。動物園、自然科学博物館、ラ・パス庭園等が見所のひとつ。

フィエスタ・ガウチョ

ブエノスアイレス市から約70kmほど離れた農牧地帯にある牧場を巡り、昼食に牧場でアサード料理で満腹感を味わった後、ガウチョと呼ばれるこの地域のカウボーイ達のダンス、馬術ショーなどを見学するツアー。

タンゴ

1880年頃、ブエノスアイレスと、ウルグアイの首都モンテビデオを中心にイタリア、スペイン系を中心とした、ヨーロッパからの移民や、アルゼンチン内陸部からの移住者、アフリカ系の人々、またブエノスアイレス南部地域で貧しい労働階級の人々を中心に色々な文化が入り交じり生まれましたといわれています。

2009年世界無形文化遺産に登録されました。

ブエノスアイレスでたくさんの劇場で妖艶なタンゴの夕べを楽しめます。

アルゼンチン観光局ではそういったタンゲリアを紹介するページも存在します。

<http://www.argentinaturismo.com.ar/tango/tanguerias.php>



LA VENTENA



EL QUERANDI



VIEJO ALMACEN



SONOR TANGO



ESQUINA CARLOS GARDEL

南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

ブエノスアイレス港

ラプラタ河に接したブエノスアイレスは船旅の寄港地としても有名である。世界旅行をするような大型船が寄港できる。またラプラタ河に跨って隣国ウルグアイへ空路ではなく、航路で移動も可能。



ポルト・イグアス

ブラジル側フォス・ド・イグアスと隣り合った町。イグアスの滝観光の拠点だが、それほど町が栄えている訳ではない。3国国境地点と言われるパラグアイ・シウダ・デル・エステと繋がっている橋がないため、一旦ブラジルに国境越えてから再度国境越えをしないとイケない。

イグアスの (Cataratas)

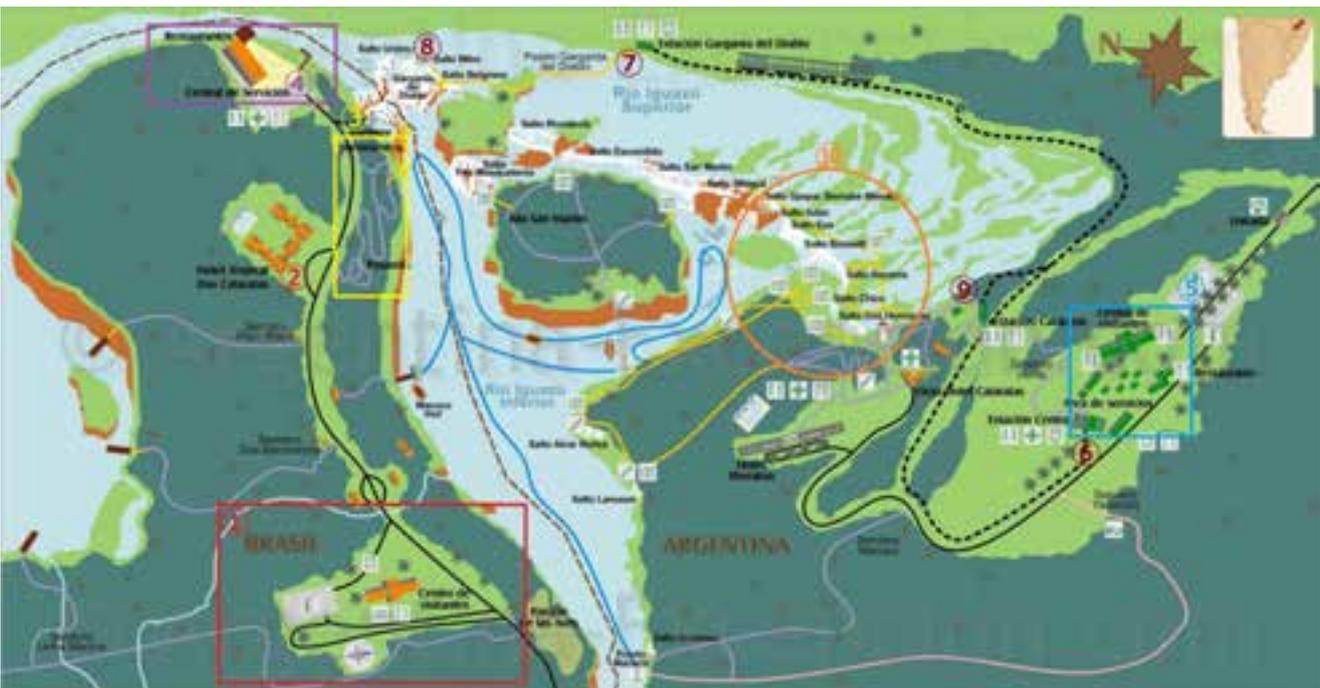
イグアスの滝は探検家あるアルベルト・フネス・カベザ・デ・ウオッカによって1541年発見。イグアスの滝はブラジル・アルゼンチン・パラグアイ3国が国境を接しているパラナ川とイグアス川の合流点からイグアス川を25km逆上ったところにある。滝の数は大小合わせると300以上、落差は高いものは100mを超える。アフリカ大陸コンゴ川にあるビクトリアの滝は落差が最高150mで世界一であるが、滝全体の幅は1600m、幅3700mのイグアスの滝の半分に過ぎない。又カナダと米国の国境のナイアガラの滝は落差60m、幅はアメリカ側300m、カナダ側790mとイグアスの滝に遠く及ばない。

イグアスの滝はアルゼンチン側が約80%を占め、ブラジル側は幅が狭い。しかし、滝全体の景観はブラジル側が素晴らしい。アルゼンチン側では滝の上に通路があり、滝を足下に歩くことができる。アルゼンチン側のメインポイントは滝の水が集中している箇所「悪魔ののど笛」GARGANTA DE DIABO” ブラジル側は”アルゼンチンには滝がある。しかしブラジルには眺めがある”というアルゼンチン側は”アルゼンチンは演出、ブラジルは観客”と言い合っているところが面白い。

またイグアスの滝を歩いて観光するだけがイグアスではない。ブラジル側、アルゼンチン側双方とも川を逆上してイグアスの滝を体感できるクルーズがある。どちらもモーターボートで一気に逆上し、パイロットの演出で滝の中に船先を突っ込むというダイナミックな体験を味わうことが可能。その代償としてかなり濡れるのでラフな格好で行くのがベスト

アルゼンチン側からしかいけない島がイグアスの滝には存在する。その名はサンマルティン島。ここにはボートで渡ることになりますが、島に到着して少しトレックすることで見るできない滝を見ることができる。

もう一つアルゼンチン側だけでできる観光の一つにフルムーンツアーがある。満月の前後3日間だけ、国立公園事務所が主催する夜の満月イグアスの滝観光だ。満月の明かりだけの中、滝の水煙で虹が浮かぶことがあるのでそれを見に行くツアー。是非タイミングが合えば、参加していただきたい。



南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

- ① ブラジル側国立公園入口
こちらで入場券を購入し、公園内シャトルバスに【乗車】して②地点へ
- ② ここから黄色枠内の遊歩道を通ってブラジルイグアスの滝観光を行います。(約1km)
多少の段差もあり、バリアーフリーにはなっていない。
- ③ 滝の真正面から見る事ができる遊歩道が川の上にも設置。エレベーターがあり、地上階へ
- ④ ここにはレストラン、お土産屋などがあります。またシャトルバスにて公園入口に戻ります。
- ⑤ アルゼンチン側国立公園の駐車場
- ⑥ 終着悪魔の喉笛駅まで徒歩にてトロッコ電車で移動となります。
- ⑦ 悪魔の喉笛駅。ここから徒歩での移動となります。
- ⑧ 片道1キロ。滝の上の遊歩道を通ります。
アルゼンチン側イグアスの滝のメインイベント悪魔の喉笛観光。
風向きによっては滝の水しぶきが全身を覆うこともございます。
そこからまた徒歩にて⑦へ、トロッコ電車で⑥へ
- ⑨ ⑦から⑥へ戻る際、⑨の途中駅で一度下車をして徒歩にて別のイグアスの滝をご覧いただくことも可能
- ⑩ オレンジ枠の部分で色々な滝をご覧いただけます。
トロッコ電車で⑥まで戻ることも徒歩にて⑥へ移動することも可能です。



サルタ

アルゼンチン北部を代表する都市で、コロニアル調の雰囲気が残る町。標高1,190m。7月9日広場に沿って、カテドラル(大聖堂)、カビルドなどの歴史的な建物が建ちます。

カテドラル(Catedral)

7月9日広間に面し、1858年建立された教会。外観はゴシック調だが、黄金に輝く内装。1592年スペインから贈られた”奇跡のキリスト像”が祭られている。

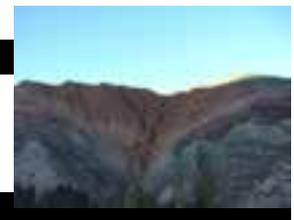


考古学博物館(Museo de Arqueología de Alta Montaña)

1999年にユヤイヤコ山で発掘された3体のミイラが展示されている。ミイラはインカの生贄として約500年に捧げられたものといわれている。(館内写真不可)

カファジャテ溪谷(Quebrada de Cafayate)

サルタから南へ約180km、標高1660mに位置し、ワインの生産地として非常に有名で、多くのボデガ(ワイナリー)がある。カファジャテでは赤ワイン、白ワインとも、質の高いワインといわれています。各試飲も可能



ウマウアカ溪谷(Quebrada de Humahuaca)

ウマウアカ溪谷はサン・サルバドール・デ・フワイから北へ60km、その美しい景観と、この地方特有の先住民の文化を現在に伝えているということもあり、2003年にユネスコの世界文化遺産に指定されました。ウマウアカ溪谷は、グランデ川に沿って続く谷で、岩肌が色合いが素晴らしい風景となっています。

南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

雲の列車(Tren a las Nubes)

標高約1180mのサルタ鉄道駅を出発しラ・ポルボリージャ鉄橋(LA POLVORILLA)までの片道217kmの高山鉄道です。最高地点は標高4200mを越える。高山病に注意が必要となる。ラ・ポルボリージャ鉄橋の他スイッチバック走行など鉄道好きにはたまらなく非常に人気。



メンドーサ

アルゼンチン西部クージョ地方に位置し、アルゼンチン4番目の都市圏。アルゼンチンワインの聖地的なところでもある。約70%がメンドーサ州産となっている。

アコンカグア山(Montana Aconcagua)

チリとの国境近くにアメリカ大陸最高峰のこの山(標高6962m)が聳えています。トレッキングは高山登山のための訓練を受けた方のみとなりますが、アルタモンターニャツアー(1日ツアー)として比較のお手軽に、アメリカ最高峰のアコンカグアの雄姿を見ることのできるツアーもあり。

チリとの国境に近いメンドーサはアンデス国境越えの町としても有名。特にチリ側は首都サンティゴと繋がっているので道路も100%舗装されている。冬場には道路封鎖もありえるので注意が必要だが、途中に九十九折の道路が存在しているので陸路移動による国境越えも人気を博している。



ボデガ



アコンカグア



メンドーサーサンティアゴ間の九十九道路

バルデス半島 (PENINSULA VALDES)

半島は一面草地帯であるが、野性動物の宝庫。グワナコ、ニヤンドウ、マラ等の他、ペンギン、ゾウアザラシ、アシカの他近辺にはクジラ、シャチ等も見ることの出来る動物ウォッチングに最適場所。9月終わりから11月ぐらいまで、クジラとペンギンの両方を観察できる時期になり一番のお勧めです。

トレリユ

南部パタゴニアの始まりに位置するバルデス半島の玄関口。バルデス半島迄は約65km。ブエノスアイレスから1、500km。乾燥した砂漠地方。

フェルトマドリン

トレリユと並ぶバルデス半島の玄関口。ただし空港がないため、バルデス半島ツアーの起点というよりも宿泊地的要素の方が近い。トレリユから約65km。又エボ湾に面しており、夏はスキューバ・ダイビング等も可能。

プンタ・トンボ

トレリユから南へ120km。車で片道約1時間30分。バルデス半島にもペンギンはいるが、こちらの方がメッカというべき。見学シーズンは9月下旬～3月。

- プンタ・ノルテ (Punta Norte)
半島最北部。ゾウアザラシ・ペンギンを見ることが可能。
- カレタ・バルデス (Caleta Veldes)
半島東側、大西洋に面した入り江。ゾウアザラシ、ペンギン、アシカを見ることが出来る
- プンタ・デルガーダ (Punta Delgada)
半島東南部。ゾウアザラシ、アシカ等を見ることが可能。

南米・アルゼンチンのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
クジラ					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
シャチ		◎	◎	◎						◎	◎	◎
ゾウアザラシ	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎
ペンギン	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎
オタリア	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎
イルカ	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎
トニーナス	◎	◎							◎	◎	◎	◎
鳥類	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎は多く見られる時期（年度により多少違いはあります）



プンタ・ノルテ

カレタ・バルデス

プンタ・デルガータ

プエルト・マドリン

トレリユー

潜水艦ツアー (Yellow Submarine tour)

プエルト・マドリンではホエールウォッチングを潜水艦から見るツアーもやっている。ここだけのサービス



南米・パタゴニアのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

サン・カルロス・デ・バリローチェ

ブエノスアイレスから1700km南西の海拔770mの位置し、パタゴニア北部の街。ナウエル・ウアピ湖に面しアンデス山脈の麓にある、スイス系の移民の美しい街。周辺は素晴らしい自然に囲まれており、7月～10月末ぐらいまでは、ナウエル・ウアピ湖の風景を楽しみながらの、スキーを楽しむ事もできる。

ナウエル・ウアピ国立公園 (Parque Nacional Nahuel Huapi)

1934年に制定されたアルゼンチン最古かつ、7050km²の非常に大きな国立公園。公園内には、100km以上の長さを持つ氷河湖、ナウエル・ウアピ湖と、周囲のアンデス山脈の自然などが含まれます。春から夏には、山肌は花々が、秋には紅葉、冬は一面の雪の世界となります。バリローチェ自体も国立公園内に位置する。ナウエル・ウアピ国立公園は、バリローチェからの1日ツアーや、チリのプエルトバラス、プエルトモンまで湖を越えていくことが出来る、湖越えツアー（クルセ・デ・ラーゴ）などを通じて国立公園の大自然を、ご堪能できる。（詳しくはチリ側プエルトモン内にて説明あり）

トロナドール山 (Cerro Tronador)

アルゼンチンと、チリの国境に位置する、ナウエルウアピ国立公園最高峰の高さを誇る。標高3491m。アルゼンチン側に4つ、チリ側に3つの氷河が存在し、特にアルゼンチン側の氷河へは、バリローチェからのツアーなどを、通じて近づくことが出来ます。

ラ・トロチータ (La Trochita)

マイテンから、エスケルまでの観光列車。ボルソンでの、手工業品のマーケット見学、マイテンでの鉄道整備工場見学が含まれる。7時出発、18時帰着

カンパナリオの丘 (Cerro Campanario)

バリローチェから約20km、車で30分ほど西へ移動した標高1052mの山。頂上へは二人乗りリフトにて移動。リフトから並びに頂上からの眺望は圧巻。360度パタゴニアの、アンデスの大パノラマを望むことが可能。



プエルト・モンからのお薦めツアー（コース）はチリーアルゼンチン横断ツアー



アルゼンチン側のサン・カルロス・デ・バリローチェまでバスと船で移動する。一年中日曜日以外は天候問わずに催行される。夏場（9月～4月）は一日で移動するのに対し、5月～8月の冬季は必ず、途中のペウジャで1泊するコースとなる。逆ルートも存在する。このコースではペトロウエでも紹介した、南米の富士山とも呼ばれるオソルノ火山が見ることが出来る。

南米・パタゴニアのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

移動場所	移動手段	移動時間	移動距離	標高
プエルト・モン⇒プエルト・バラス⇒ペトロフェ	バス	2時間	76km	150m
ペトロフェ⇒ペウジャ	船	1.4時間	20マイル	150m
ペウジャ⇒プエルト・フリラス	バス	2時間	26km	976m
プエルト・フリラス⇒プエルト・アレグレ	船	20分	4マイル	762m
プエルト・アレグレ⇒プエルト・プレスト	バス	15分	3km	756m
プエルト・プレスト⇒プエルト・パニューエロ	船	1.05時間	15マイル	756m
プエルト・パニューエロ⇒バリローチェ	バス	30分	20km	760m

カラファテ

ロス・グシアレス国立公園への玄関口。湖と山に囲まれた小さな町。夏場（10月下旬～3月下旬まで）国立公園内の氷河への交通手段はないため、お薦めは現地ツアーに参加すること。以前は冬場はクローズしていた町だったが、現在オープンしているホテルもある。

ペリト・モレノ氷河 (Graciares Perito Moreno)

カラファテ市内から約85km。車で約2時間の距離。地響きをたてて崩れ落ちる氷の塊は迫力満点。夏時期ならば日に数十回見られる。この氷河を目の前にしてみることでできる遊歩道からは一日中眺めていても飽きささない。また氷河を巡るボートツアーもある。



この氷河を歩きます。

氷河トレッキングツアー

各グループ毎にナチュナリストがついて氷河トレッキングツアーを行います。そのためグループの人数により出発時間が多少異なりますが、予定として10:00～11:00の間にスタートすることになります。カラファテのホテルを出発し、BAJO LAS SOMBRASの栈橋まで移動し、そこからボートにて対岸に移動。そこから約15～20分ほど歩き、アイゼンを装着後、氷河トレッキングがスタートします。（手荷物は栈橋にある山小屋に保管します。*貴重品はそのままご自身で携帯します。）トレッキングは約1.5～2時間を予定。ルートは毎回ナチュラリストが安全面を考慮して行う為決まっていないが、最後に氷河の氷を使った“オンザ・ロック”で乾杯！氷河トレッキング終了し、山小屋に戻り、ランチボックスで昼食。椅子などが少ない。氷河を眺めれる岩などにお座りいただき、昼食をしながらの氷河をお楽しみください。昼食後、ボートにて対岸に向かい、終了となります。（その後、バスにて氷河への展望台へむかうことが通常です。）



注意) 65歳未満のみが出来るツアー

南米・パタゴニアのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

ウプサラ氷河 (Glaciar Upsala)

高さ100m、幅5km、長さ80kmにもわたるロスグラシアス国立公園最大の氷河。殆どの氷河はアルゼンチン側を越してチリ側まで及ぶ。

上記の氷河はクルーズでしか見ることができない。左図はウプサラ氷河を見に行くクルーズのルートである。その他、オネージ氷河、スパガツィーニ氷河も見に行くことができる。

但し、現在ウプサラ氷河からの氷山が流れ出ていることが多く、安全上の理由からウプサラ氷河並びにオネージ氷河へは行けない場合が多い。その場合、スパガツィーニ氷河とペリト・モレノ氷河の南側をクルーズすることになる。



エル・チャルテン

エル・カラファテから車で約4時間の小さな町。ロス・グラシアレス国立公園の北部に位置し、トレッキング、などアウトドアを楽しむことができます。



フィッツ・ロイ山 (Mt. Fits Roy)

3405mの山でトレッキングが有名。鋭利な岩峰が特徴的。先住民は、山頂にかかる雲が煙のように見えたことから『エル・チャルテン』（煙を吐く山）と命名された。

ウシュアイア

世界最南端の都市。プエノスアイレスから3、250km。南極から約1、000km。風の強いこの大地にオレンジ色の炎を不思議に思ったマゼランが”ティエラ・デル・フエゴ=火の国”として名付けた。ここも夏時期の10月～4月迄でその他は雪に閉ざされる。夏でも平均気温は9度前後。その他、このウシュアイアは南極ツアー等のクルーズの玄関口になる。毎年時期にいくつかのクルーズが出航する。



世界の果て博物館 (Museo del Fin del Mundo)

マイブー通りとリバダビア通りの角。ヤーガン族、オーナー族、アラカルフ族等の生活用品を展示しているほか、パタゴニアに生息する鳥類の剥製などもある。図書館もありパタゴニアに関する本は閲覧可能。

ティエラ・デル・フエゴ国立公園 (Parque Nacional TIERRA DEL FUEGO)

町の西12kmの国立公園。唯一の海岸線に面したアルゼンチン国立公園。世界最南端でもあるため、特殊な自然環境を見ることが出来る。西側は、チリとの境界にもなっている。ティエラ・デル・フエゴ国立公園内は、散策路がつけられ、徒歩で散策することも可能だが通例はツアーにご参加されるのが一番。国立公園ツアーの往路（もしくは復路）に、世界最南端の鉄道の世界の果て号観光を組み合わせることも可能です。

世界の果て号 (Tren del Fin del Mundo)

ティエラ・デル・フエゴ国立公園内一部を走る観光列車。片道50分程度。走行中は英語とスペイン語での案内が入る。



ビーグル水道 (Canal Beagle)

フエゴ島、ナバリノ島、オステ島の間にある海峡をビーグル海峡と呼ぶ。大西洋と太平洋を結ぶ水路でもあり、アルゼンチンとチリの国境にもなる。大西洋から太平洋迄は約320kmの距離になり、ここウシュアイアは大西洋から約10km地点。水路の狭い所では1km程しかない。ここの観光も全てクルーズを利用する現地ツアーに参加することがお薦め。

南米・パタゴニアのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>

● ロス・ロボスとロス・バハロス (Isla del Los Lobos, Isla del Los Pajaro)

ロス・ロボス島 (アザラシの生息する島) とロス・バハロス島 (パタゴニアの鳥ウミウ等が生息する島) を遊覧する。途中世界最南端の町も見ることが出来る。

● ビーグル水道とペンギン島

ロス・ロボス島、ロス・バハロス島その他、マゼランペンギンが生息するマルティーホ島 (Isla Martillo) とハーバートン牧場を見ることが出来る。

● 3 交通機関ツアー

バス、列車、双胴船を利用したツアー。バスを利用して国道3号線最南点迄移動して観光。”世界の果て号”を利用した世界最南端列車ツアーとロス・ロボス島やエクレルール 灯台等を双胴船で観光



アンデス越え

アルゼンチンとチリはアンデス山脈を境に隣接しているが、基本4通りの移動方法が存在する。

	チリ側	アルゼンチン側
①	サンティアゴ	メンドーサ
②	プエルト・バラス	サン・カルロス・デ・バリロッチェ
③	プエルト・ナタレス	エル・カラファテ
④	プンタ・アレーナス	ウシュアイア

南米・パタゴニアのことならお任せ下さい。

(株)ラティーノ 本社 TEL : 03-3792-9000 / 西日本営業所 TEL : 06-6147-3720

<https://www.t-latino.com>



取扱旅行代理店：

現地では南米旅行のエキスパート、ラティーノがアルゼンチン全土に広がる安心のネットワークで皆様のご旅行を確実にかつ安全にサポートいたします。安心してご出発下さい。



株式会社 ラティーノ

本社：
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-3-6 Cビル5F
TEL：03-3792-9000 FAX：03-3792-9687
E-mail： latino@tokyo.email.ne.jp

<https://www.t-latino.com>

西日本営業所：
〒550-0004 大阪市西区区靱本町1-6-10 本町西井ビル8F
TEL：06-6147-3720 FAX：06-6147-3730
E-mail： latino@osaka.email.ne.jp